

Q**鶴ヶ島の教育と責任について****A****市民の期待にこたえるよう努める****長谷川 清 議員****質問一** 鶴ヶ島市の学校教育と教育行政について。**二** 教育施策とレイマンコントロールについて。**三** 学校教育予算と教育施策について。**答弁一（教育委員長）** 教育委員会としては市全体を、学校としては自校の学力の状況をそれぞれの確に把握し、問題点を分析し、改

善のためのプランを作成。二つ目として、学校の取り組みをサポートする教育委員会の考えを各学校に周知し支援していくことが必要。

三つ目として、学校、家庭、地域の3者が学力向上に向けて協働

した取り組みを推進する機運を高めていくことも大きな課題である。

二 教育委員会会議、教育委員会全員協議会を開催し委員から意見

を聞き、レイマンコントロールが機能するよう努めている。重要事項の決定には、策定過程から議論し、指揮監督の機能を実効性あるものとするよう努めている。

三 重点施策として、学校教育ビジョンの策定や学力向上鶴ヶ島プランの策定、学校応援団、保・幼・小・中連携の推進、二期制の推進等。予算措置として7月に要望した概算要求額と比較するとほぼ要求額どおりの当初予算額である。

教育委員会会議の様子

**Q****圏央インター周辺開発は中止を****A****本市の最重要施策と位置付ける****松村 和子 議員**

を聞き、レイマンコントロールが機能するよう努めている。重要事項の決定には、策定過程から議論し、指揮監督の機能を実効性あるものとするよう努めている。

三 重点施策として、学校教育ビジョンの策定や学力向上鶴ヶ島プランの策定、学校応援団、保・幼・小・中連携の推進、二期制の推進等。予算措置として7月に要望した概算要求額と比較するとほぼ要求額どおりの当初予算額である。**質問一** 水土里の交流圏構想の策定状況と内容について。**二** 県に対しての要望内容と農業大学の移転経緯について。**三** 地元の市民の皆さん、地主の皆さんの意見や要望について。**答弁一（市長）** 本市の最重要施策の一つと位置付けている。

西部地域には、ふるさとを体感できる魅力的な自然景観がある。

その地域資源を生かし、水辺環境や雑木林の整備に向けた取り組みを進める。遊休農地の活用や新規

就農者の育成を進める。人、物、情報を流通、連携させ、自立的で

継続的なまちづくりを目指す。これらを基本コンセプトに据え、具

体的構想の策定を県と共同して始めた。

二 県と市で共同して新たな整備計画を検討するように要望した。

県でもすでに平成17年度埼玉県行財政改革プログラムの中で農業

大学の統合が検討された経緯もあり、本年度農業大学校移転可能性調査が予算計上された。

三 市民の方々の意向、要望を聞き、具体的な計画案を策定していく過程において適宜公表する。**◎その他の質問****一** 市民に役立つ緊急雇用経済対策の実施を**二** 非核平和行政の実現に向けて

上空からの圏央鶴ヶ島IC周辺



上空からの圏央鶴ヶ島IC周辺